

平成州紙



おりおりの記

私の東京マラソン

大和証券グループ本社
取締役会長

日比野隆司

今年もマラソンの季節がやってきた。私にとってのマラソンは東京マラソン。平成時代最後の東京マラソンは、3月3日、雛祭りの日に開催が予定されている。

入社以来1キロも走ったことの無かった私が、マラソンを走るようになった背景はふたつ。ひとつは、平成27年秋に還暦を迎えるにあたり、何か新しいことにチャレンジしようと考えていたこと、もうひとつは、同年初に当社が第1回「健康経営銘柄」に選定されたことだ。「健康経営銘柄」というのは、社員の健康増進につき経営的・戦略的に取り組んでいる企業として、経産省と東京証券取引所が共同で、原則1業種1社選定するもの。

健康経営銘柄に選定された記念事業として、東京マラソンのオフィシャルパートナーになると共に、自らの「還暦記念事業」として東京マラソンを走ることにした。

その筋では高名な「完走請負人」とプライベート・ベースで契約したが、毎晩宴席、毎週末ゴルフという生活では、なかなか練習時間がとれない。結局、週末のゴルフで、フェアウェイを左右に大きく外すボールを追いかけて走ったのが良いトレーニングになり、何とか時間内ゴールを果たした。ゴルフが下手なもの、こと還暦マラソンに関しては吉と出た。

もともと走ることに興味の無かった私だが、結局その後も続けて東京マラソンに参加し、今年4年連続の参加を決めている。私の還暦マラソンに

は副産物がいくつがある。まず、社内にランニングクラブが創設され、今では150人を超えるメンバーが定期的に活動している。ランニングを通じた部門間

の社員の交流も盛んになった。また、東京マラソン当日は、私が日本一と確信する当社の応援団が、数カ所で全ランナーに熱い応援を展開するようになった。役員の間でも結構なブームになり（付度では無く、ハマっている）、4時間を切るようなランナーを含め、かなりの本格的ランナーが育ってしまった。企業役員対抗駅伝があったら、上位入賞は堅いのではないかなと思う。

個人的な副産物は、昨年、妻も念願の還暦マラソンを完走できたこと。周りのサポートや応援のお蔭で何とかゴールできたのだが、貴重な経験を共有できたことは、人生100年時代で先の長い夫婦生活の円満に資するのではないかと期待している。

最後に、平成時代締め括りの東京マラソン完走を誓い、併せて、新年そしてポスト平成時代の我が国株式市場が健やかな成長を遂げることを祈念する。

